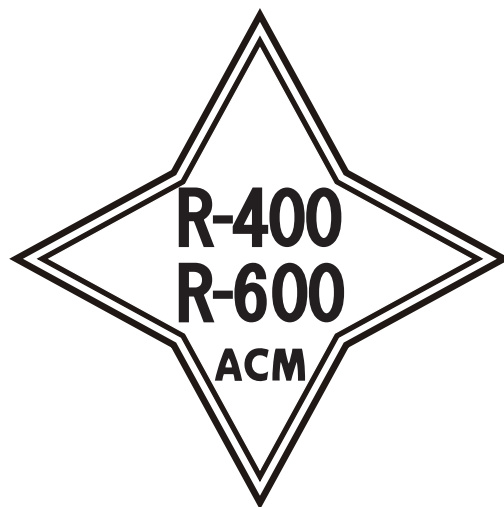


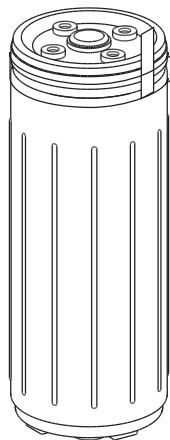
# カートリッジの交換方法



*PRODUCED BY ACM*

以下の同梱されている5点を必ず確認してください。

カートリッジ 1 つ



必ずテープをはがしてください。


胴体用オーリング 2 コ



平ゴムパッキン 1 コ  
(オーリングホルダー用)

オーリング 1 コ  
(オーリングホルダー用)

## ※水の検査用

 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意してください。

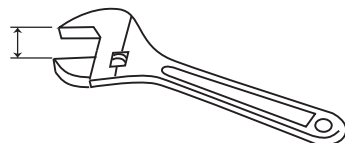


残留塩素測定試薬  
(1包1回分 2包入)

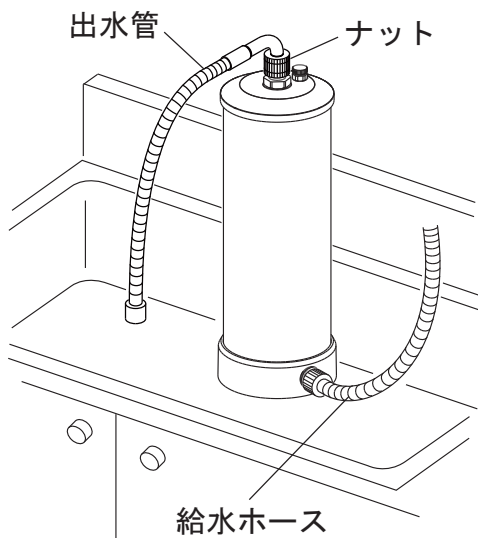
## 必要な工具 (ご準備ください)

26 mm以上開くモンキースパナ  
をご準備ください。

26 mm以上



## カートリッジの交換方法




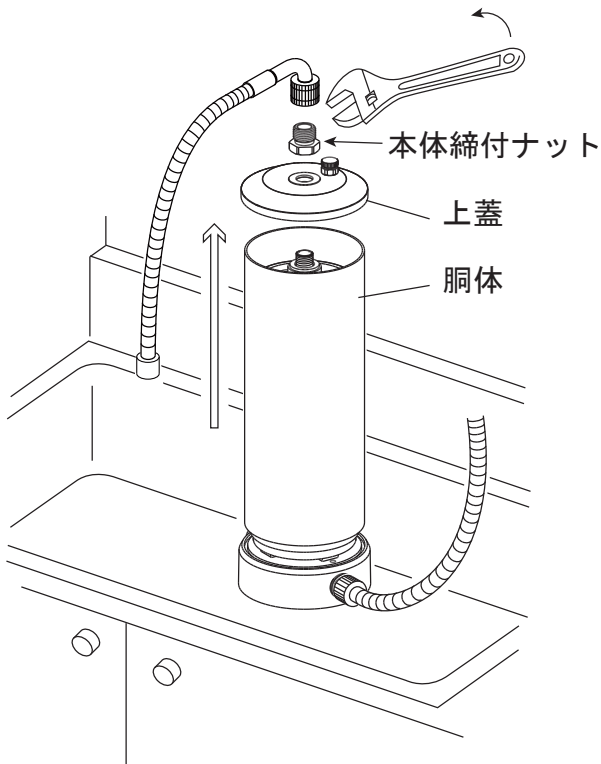
(1) 水道の蛇口を閉めてください。

(2) 本体を流し台のシンク内に入れてください。

※作業上、給水ホースがジャマでなければ、付けたままで作業してください。

(3) 出水管のナットをゆるめて、本体から外してください。

 ナットをゆるめると出水管内の水が出ますので、作業は流し台で行ってください。



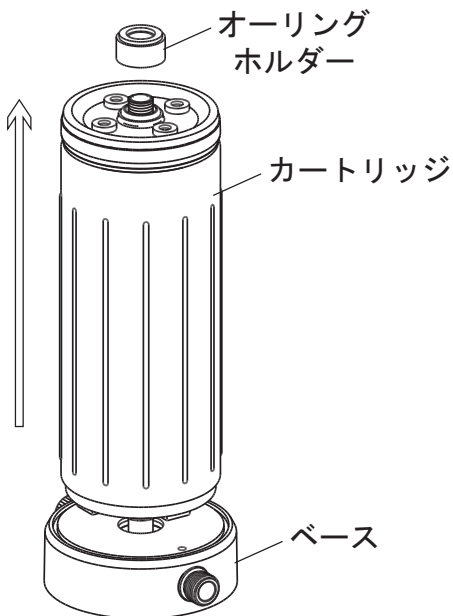
(4) 本体締付ナットをモンキーでゆるめて(左回し)、上蓋を取り外してください。

**⚠** 本体締付ナットをゆるめると、胴体と架台(ベース)の間から水がでますので、作業は流し台で行ってください。

(5) 胴体を上に持ち上げながら抜いてください。

(6) オーリングホルダーを抜きます。

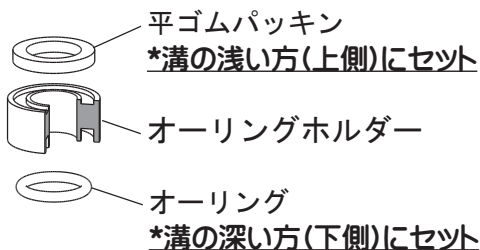
上蓋の内側にオーリングホルダーが付く場合があります。そのときは、オーリングホルダーを横にズラすようにしながら取り外してください。



(7) ベースを片手で押さえながら、カートリッジを抜き取ります。その際、取り外した部品等を水洗いしてください。

このとき、切替コックのレバーを原水にして蛇口を開くと水道水が出ます。その水で部品等を水洗いします。

**⚠** 洗剤は、中性洗剤をご使用下さい。部品劣化の恐れがあるため、その他の洗剤等のご使用は避けてください。



## (8) 同梱のオーリング・パッキンを交換してください。

今ついているオーリングが外しにくい場合は、先の尖ったもの（安全ピン・針など）で外します。

オーリングを外した溝の汚れ・水あかなどの汚れをティッシュなどで取り除いてから、同梱の新しいものをセットしてください。

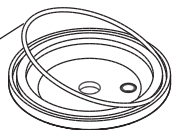
**※溝にしっかりセットされているか、必ず再度ご確認ください。**

- ① オーリングホルダーの上下の溝にセットされている平ゴムパッキン・オーリングの2点を交換してください。

**※溝の浅い方(上側)に平ゴムパッキン、溝の深い方(下側)にオーリングをセットします。**

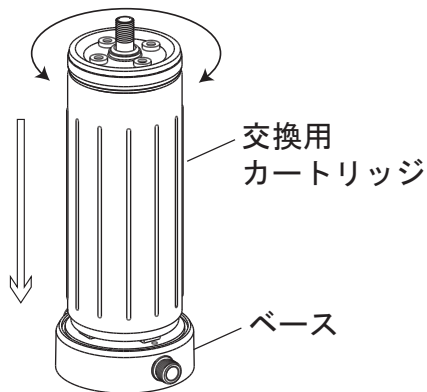
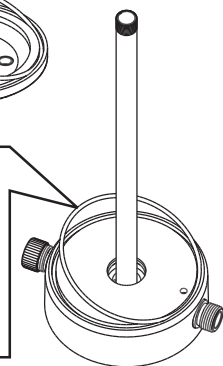
- ② 上蓋溝（裏面）・ベース溝の胴体用オーリングをそれぞれ交換してください。

胴体用  
オーリング



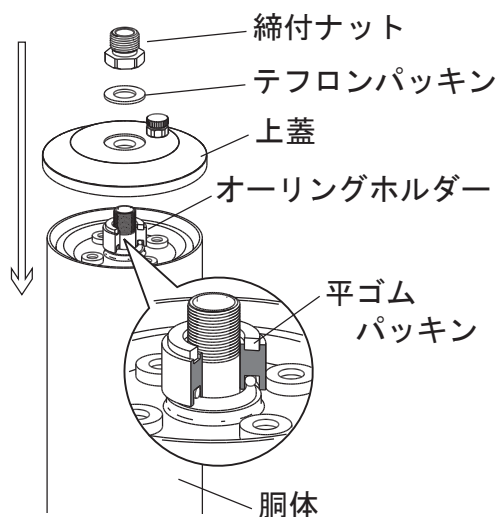
胴体用オーリング

**⚠** 古い胴体用オーリングを取らずに交換用オーリングを二重にセットすると水漏れします。



## (9) ベースに交換用カートリッジを差し込みます。

このとき、カートリッジを左右に回しながら差し込むと容易に入ります。



## (10) 胴体・オーリングホルダー・上蓋をのせてモンキーで締付ナットを締めます。

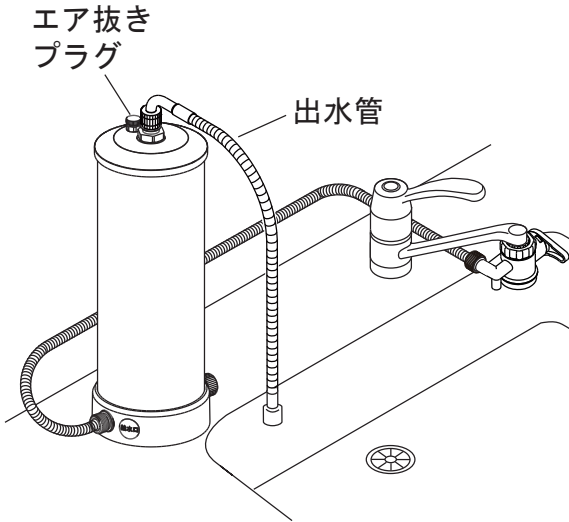
オーリングホルダーは平ゴムパッキンがセットされている方を上にして差し込みます。

上蓋の上にテフロンパッキンをセットしてください。

締め付ける目安は、締付ナットを徐々に締め付け、胴体のガタツキが無くなってから締付ナットを一周締めつけてください。

出水管を取り付けて、カートリッジの交換は完了です。

## (11)使用する前にエア抜きを行います。



a : 蛇口に取り付けた切替コックのレバーを活水にして、蛇口を開きます。

(注) 蛇口を開けすぎるとエアが抜けた後、水が吹き出しますので、注意してください。

b : エア抜きプラグを左に1回転位回してください。

c : エア抜き部から水が出てきたらプラグを右に回してしめてください。

## (12)出水管から水が出たら、蛇口を全開にして約2分間捨て水をしてください。

(注) 1 このとき、ろ材の活性炭の粉が混じり黒い水が出ることがありますが、故障ではありません。

(注) 2 出水管と切替コックの出水部分の水洗い(P5)を行ってください。

## (13)水の検査

これは、浄水された水が正常であることを確認する検査です。

### 確認方法

1. コップに浄水後の水(約50cc)をとります。
2. 付属部品の残留塩素測定試薬を1袋加えます。
3. かき混ぜて、無色透明であることを確認してください。

(判定は1分以内で行ってください。)

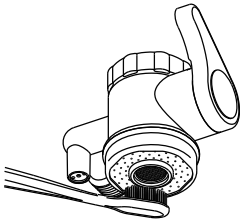
残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると試薬はピンクに変色します。

**※但し、1分以上おくと残留塩素が無い状態でも変色します。  
ご注意ください。**

### 《注意》

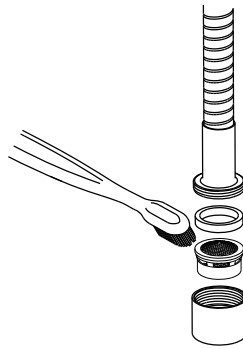
- ご使用後のコップは、よく洗ってからご使用ください。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意してください。
- 手などに触れた場合、石鹸でよく洗ってください。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談ください。
- 幼児の手の届かない場所に保管してください。

## 快適にお使い頂くためのお手入れ方法



### 切替コック

1 カ月に1～3回を目安に出水部分を清潔なハブラシ等を使い水を出しながら汚れを落とします。



### 出水管

塩素が取り除かれた水が出る出水管は汚れたハブラシ等で洗うと出水口に雑菌が付着・繁殖する事があるので、清潔なハブラシ等をお使い下さい。

1 カ月に1～3回を目安に先端の泡沫栓を回して取り外し、水洗いします。

## 修理を依頼される前に確認してください

事 例	もう一度確認して下さい	解 決 方 法	参照ページ
ベースから水漏れする	胴体用オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換してください。	3ページ(8)
	ベース溝に胴体がしっかり入っていますか？	胴体がベース溝にきちんと入っていない場合、水漏れの原因となります。確認して下さい。	3ページ(10)
上蓋から水漏れする	胴体用オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換してください。	3ページ(8)
	上蓋溝に胴体がしっかり入っていますか？	新しく交換した上蓋溝の胴体用オーリングが胴体に噛み合うように乗せてから締め付けてください。	3ページ(10)
	本体締付ナットの下に、テフロンパッキンが入っていますか？ また、破損していませんか？	交換中にテフロンパッキンを紛失された可能性があります。確認してください。また、亀裂等の破損が見られる場合には、ご購入先までお問い合わせください。	

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用ください。

## 修理を依頼される前に確認してください

事 例	もう一度確認して下さい	解 決 方 法	参照ページ
塩素反応が 出る	オーリングホルダーを入れ忘れていませんか？	オーリングホルダーを入れ忘れたり、上下が逆になっていると塩素漏れの原因となります。確認してください。	3ページ(10)
	オーリングホルダーを上下逆に入れていませんか？		
	オーリングホルダー用の平ゴムパッキン、オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると塩素漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、新しいものと交換してください。	3ページ(8)
	給水口シールの貼ってあるネジに給水ホースが接続されていますか？	給水ホースの接続を左右逆にすると、浄化できません。正しく付け直してください。	
出水管から 水漏れする (蛇腹部分)		長期使用での劣化によるものと思われる。新しい出水管と交換してください。	
(本体締付ナットとの接続部分)	本体締付の六角ナットとの接続部分の内側に、白黒2枚のパッキンが入っていますか？	パッキンのどちらかが破損していたり紛失されてしまった場合、水漏れの原因となります。ご購入先までお問い合わせください。	
蓋がしまらない	カートリッジ上下逆に入れていませんか？	取扱説明書に従い、上下を確認してください。	3ページ(9)
	現在使用している機種と交換カートリッジの機種は、同じ名称ですか？	機種の種類によってカートリッジの大きさが異なります。使用機種とカートリッジの名称が異なる場合は、ご購入先までお問い合わせください。	
初回に浄水器から出る水が黒い。 (取付時)		初水は細かい活性炭が出ます。使いはじめの際は黒い水が透明になるまで通水してください。	4ページ(12) (注1)

井戸水をご使用するとき、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用ください。

# ご使用上の注意

- (1) 流し台の下及び水道直結型にはなりません。
- (2) 浄水出口には、バルブ等を一切使用しないでください。
- (3) 使用水圧（動水圧）0.35MPa以内でご使用ください。
- (4) 凍りつく恐れのある場合は、ご使用できません。
- (5) 井戸水等に使用される場合は、必ずご相談ください。
- (6) 製氷器・湯沸かし器等には、連結しないでください。
- (7) ご使用は、水（飲料水適合）だけにしてください。お湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますのでご注意願います。  
（誤っての短時間の通水であれば問題ありません。）
- (8) 朝、最初に使う場合は、約45秒間捨て水をしてください。  
2～3日使用されなかった場合は約2分間位捨て水をしてください。
- (9) 金魚や熱帯魚には使用しないでください。
  - ・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
  - ・カートリッジの寿命付近はカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合魚が死んでしまう恐れがあるため。
- (10) 水の検査用残留塩素測定試薬は、劇物ですのでお子様の手の届かないところに保管願います。また、水の検査終了後のコップ等はよく洗ってください。
- (11) 出水管の先端および切替コックの出水部分は1ヵ月に1～3回を目安に、水洗い(P5)を行ってください。

■製造元

**株式会社 エイ・シー・エム**

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10 MYSビル3F